



耐久高等学校同窓会報

# 耐久



保田龍門作「みかん娘」

耐久高等学校所蔵（正面玄関に掲示）

# NO. 14

- ・ 1891(明24)～1965(昭40)那賀郡粉河町出身
- ・ 東京美術学校(西洋画科本科)卒業(大6年)・渡仏
- ・ 院展・文展等で受賞を重ねる 日本美術院彫刻部同人
- ・ 下村観山・川端龍子・建島大夢とともに南紀美術協会を結成するなど、洋画・彫刻と旺盛な制作活動を行う
- ・ 大阪市立美術館美術研究所教授、和歌山大学学芸学部教授を歴任

### 平成十五年卒業式

去る三月一日(月)第五十六回全日制(二八二名)・第四十八回定時制(一三名)卒業式が、昼夜に分けて執り行われた。

藪添泰弘校長は、東方政策(東II日本に見習え)を打ち出した世界的指導者であるマハディール・マレーシア前大統領が、最近のあるTV番組で、現在の日本の若者たちの姿について述べるとともに、今日の日本はもはや学ぶべき国ではなくなりつつあると痛烈に批判していたことに強い衝撃を受けたと述べられた上で、君達自身が今後一層精進努力すること、日本の若者は心配いらない事を世に示して欲しいと語った。また、周りの人々への感謝の気持ちを忘れず、これからは自身自身の手によって豊かで平和な住みよい日本、すばらしい社会を創り上げるといふ強い決意をもって欲しいとの訓話を贈られた。

橋本佳巳同窓会長は祝辞のなかで「啐啄同時」なる禅語を引用され、人生に於けるタイミングの大事さ、チャンスをつかむ時機を誤ることのないよう訓されたのも印象的だった。

また、卒業生代表の上野山琢也君は、高校生活で一番印象的な出来事として「創立百五十周年記念行事」をあげ、「ここ耐久で、百五十年という千載一遇にめぐり会えた事を

嬉しく誇りに思う。」そして「耐久の精神・伝統よ未来永劫に。」と感動的な答辞を披露した。  
卒業証書授与式に臨む卒業生たちの姿勢・態度も素晴らしく、厳粛のうちにも感慨深い卒業式となった。

### 平成十六年度入学式

四月九日(金)平成十六年度全日制・定時制入学式が挙行され、全日制新入生二八〇名(普通科二四〇名・グローバル探究科四〇名)・定時制一〇名の入学が許可された。

藪添校長は式辞の中で、耐久高校校歌について、当時高校三年生であった現役生徒(清水康夫氏)がこの校歌を作詞したこと、ふれ、自然あふれる学び舎で、大志(夢・希望)をもって学んでほしいと述べられた。また「真・健・美」の校訓の内容と意義についても新入生たちに語りかけられた。



### 本部役職員の委員会制により同窓会の更なる発展を!!

今期役員会は五月十二日、学校に於て開催されこれからの活動推進の具体的な活性化策を討議、役職員の委員会制を採択し、三つの部門により活動の実を挙げるべく左記の組織を承認しました。

#### (一) 同窓会組織強化委員会

- ◎ 宮井 慶三 ○ 古川 友子
- 斎藤春太郎 伏木富紀子
- 法眼 貞子 花野 正彦
- 平松 正彦
- 清水 健一 生駒 亮司
- 早田知恵子

#### (一) 同窓会報委員会

- ◎ 清水 康夫 ○ 斎藤春太郎
- 伏木富紀子 橋本 佳巳
- 法眼 貞子 和泉千恵子
- 古川 友子
- 白井 敏之 宮崎 裕之

◎ 印委員長 ○ 印副委員長 印教職員

### 県高等学校長会会長に

### 藪添泰弘耐久高校長が就任



今年度、和歌山県高等学校校長会の会長に、わが耐久高校藪添校長が、信望とその手腕を期待され、目出度く推挙されました。

亦、近畿地区高等学校長協会連絡協議会会長・全国高等学校長協会常務理事も兼任されることになりました。

和歌山県高等学校校長会は県立四四校、市立二校、町立一校、私立八校の計五五校で構成されている。

### 学校人事

- 小川 敬文 教頭 → 貴志川高校長
- 竹内 雅昭 定時制 紀央館高教頭
- 楠山 憲司 事務長 → みはま養護事務長
- 宮井 利治 教頭 ← 海南下津分校教頭
- 田村 登志樹 定時制 県研修センター指導主事
- 坂本 明男 事務長 ← 日高高校事務長

支部連絡先	<b>和歌山耐久会</b>	<b>関西耐久会</b>	<b>関東耐久会</b>
	会長 北 一 視 〒641-0034 和歌山市新高町6-9 北 一視税理士事務所 Tel 073-445-1133	会長 阪本 禎 三 〒537-0022 大阪市東成区中本2-12-8 阪本 禎 三 Tel 06-6971-8708	会長 高居 富 一 〒112-8668 東京都文京区関町11-44-10 (株)アイ・エヌ・エー 4F Tel 03-5261-5885



貴志川高等学校  
校長 小川 敬文

貴志川高等学校に赴任してはや三月が経ちました。

新職場にも慣れ、日々元気に励んでおります。その間、多忙にかまけ同窓会はじめお世話になった方々に十分なお礼、ごあいさつも申し上げずに今日に至っております。

### ≡ 耐久高校のおもいで ≡

非礼をお詫び申し上げますとともに、ご助言・ご尽力等賜ったことに改めてお礼申し上げます。また、同窓会誌編集委員各位には私のため紙幅を用意いただきました。ご配慮のほど改めて感謝・恐縮しております。

県教育委員会を卒業し、教頭として久々の学校復帰でした。そして、創立百五十周年をはじめとした様々なイベント等も体験させていただきました。橋本同窓会長様や同窓会の皆様方、戴添校長以下教職員の方々、PTAその他関係者の方々との仕事・交流・ふれあい等々の思い出は枚挙にいとまありません。わずか二年間の勤務でしたが、私の人生の中では優に四、五年分の存在価値があったと感じています。

その中で、常に感じたのは皆様方の母校愛・地域愛そして卒業生としての強烈

な自負心についてでした。県立高等学校中でも、これほど同窓会に母校愛や伝統が息つき堅持されているのはごく僅かでしょう。

私は、本校卒業生ではありませんが、すばらしい先輩方と実行力ある同窓会を有し、その恩恵に浴する耐久高等学校の生徒・教職員は幸運だと、事あるごとに感銘させられたものです。

とりわけ、このことが凝縮され象徴的に示されたのが創立百五十周年記念事業であったと思います。

関係者の叡智と膨大な時間・エネルギーそして浄財を投入しての各種事業でしたが、教頭として各種事業に立ち会えたことは私にとって貴重な財産となつていきます。特に、秋晴れの記念式典当日の各シーンは私の脳裏にも永遠に刻み込まれています。

現任教員においてもこの貴重な体験を生かし、特色ある学校づくりに励みたいと微力を尽くす日々を送っています。

最後になりましたが、耐久高等学校・同窓会のますますの発展を祈念しつつ、お礼とご挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございます。  
平成十六年六月二十四日



### 我らが母校

耐久高等学校  
教頭 宮井 利治

昭和六十三年から七年間耐久高校でお世話になり、今春から再び勤務することになりました。よろしくお願ひします。ご承知のようにならぬ間に、この二十年ほどの間に県内の高校進学状況は随分変わりました。私立進学高校の登場、学区制にとられない専門学科の設置と推薦入学制度の拡大、そして普通科への推薦制度導入、さらには一昨年から学区制の撤廃などにより高校進学を目指す中学生にとって選択肢が次々に増え、選べる学校がどんどん増えました。朝、駅では様々な制服を着た高校生が電車に乗り込みます。そしてその多くは北向きの電車です。県都を北部に持つために有田地方の生活圏は北指向で、しかも高等学校の数も多いのですから当然のことでしょう。これに対して受け入れる高校側は学校の特色を出し、魅力ある学校づくりに取り組んでいます。耐久高校も二期制や六十五分授業、国際交流活動、グローバル探求科の設置、習熟度別学習やコース制、熱心な教科指導や補習授業、クラブ指導等々、様々な取り組みを行っています。そして広い地域から耐久高

校に通学するようになりました。しかし、かつて中学区制のあったころの耐久を知る私たちにとつて、地元の高校に興味を示さず、遠くの高校を希望する有田の子ども達が増えていることは残念でなりません。地域を含め多くの子ども達も憧れ、入学を希望するような耐久高校にしたいものだと思います。

五月二十三日、私たち21期(昭和四十四年)卒業のクラス同窓会を大阪で行いました。二クラスから二十六名が参加し、中には前日の関東耐久会に出席した人もいました。私は現在の耐久高校の様子を少しでも紹介したいとの思いから「学校案内」を十五部持参したのですが、参加人数も知らず、宴会後に会場に忘れられてはいけないと思い、少しだけにしたのです。ところが、会が始まり配ったところあつという間になくなり、皆、鞆に入れて大切に持ち帰ってくれ、「足りない」とお叱りさえ受けたほどでした。皆さんの母校への愛着の深さをつくづく感じました。

平成十六年度進路概況について

進路指導部長 岩崎浩久

十八歳人口は減少しているが、人気大学・学部への偏りや、求人数の減少など、進学・就職ともに厳しい状況が続いている。

大学入試センター試験の現役志願者は四年ぶりに減少し六十万人を切った。また今春よりほとんどの国公立大学で、センター試験五(六)教科七科目を課すこととなったが、経済不況による根強い国公立志向は、変わらない状況である。教科・科目については英語・国語が易化し、数ⅡB・化学が難化、総合平均点は文系・理系ともアップした。

私立大においては知名度、難易度、就職状況、地理的条件などによる二極化、三極化がさらに進行し、学校間の格差がさらに顕著になっている。短大・専門学校においては医療・看護系、保育系、栄養系の人気が高い。来春は和歌山労災看護専門学校が募集停止となるので、県内の看護専門学校の志願状況が大きく変化することも予想される。

こういった厳しい状況下で、今春の本校卒業生二八二名はよく健闘した。前年度に比して一クラス減となったため、国公立大学の合格者数は二九名と減少したが、大阪大、大阪市大、関西学院大、立命館大、関西大等希望の進路を実現できたものが多かった。最後まであきらめずに努力したことが、このような結果に結びついたものと考えられる。

(1) 平成16年3月卒業生進路状況

	進 学								就 職						合 計
	大 学				短 大				専修各種	公務員	企 業	家 業	計	そ の 他	
	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計							
男	13	0	64	77	0	0	0	0	27	2	3	1	6	28	138
女	13	8	35	56	0	0	46	46	31	1	4	0	5	6	144
計	26	8	99	133	0	0	46	46	58	3	7	1	11	34	282

(2) 平成16年3月卒業生・過年度生 大学・短大合格者数

	大 学									短 大						合 計			
	国 立			公 立			私 立			国立		公立		計	私 立				
	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現	過	現	過		現		過	計	
男	13	4	17	1	1	2	102	23	125	0	0	0	0	0	0	0	1	1	145
女	15	1	16	10	0	10	66	6	72	0	0	0	0	0	0	0	57	0	57
計	28	5	33	11	1	12	168	29	197	0	0	0	0	0	0	0	57	1	58

(3) 過去6年間の進路状況

	11 年			12 年			13 年			14 年			15 年			16 年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国公立大	19	13	32	16	18	34	22	15	37	24	22	46	25	18	43	13	21	34
私立大	75	50	125	65	49	114	76	44	120	62	39	101	67	53	120	64	35	99
短大	3	47	50	2	62	64	4	39	43	1	38	39	2	44	46	0	46	46
専修各種	20	35	55	22	37	59	22	36	58	23	34	57	30	32	62	27	31	58
公務員	0	0	0	1	3	4	3	0	3	5	0	5	1	2	3	2	1	3
就職	4	4	8	7	7	14	4	7	11	7	7	14	6	5	11	4	4	8
その他	32	13	45	15	11	26	19	17	36	40	9	49	20	10	30	28	6	34
合計	153	162	315	128	187	315	150	158	308	162	149	311	151	164	315	138	144	282



主な合格先 (延べ数)

- 国立大学
  - 和歌山大(19)、電気通信大、静岡大、三重大、滋賀大、大阪大、岡山大、高知大、大阪府立大、大阪市立大(2)、兵庫県立大、和歌山県立医科大(看護4)、岡山県立大 etc.
- 私立大学
  - 早稲田大、京都産業大(17)、京都女子大、京都外国語大(3)、同志社女大(2)、佛教大(10)、立命館大(3)、龍谷大(9)、関西外国語大、大阪工大(11)、近畿大(19)、桃山学院大(6)、関西大(8)、関西学院大(3)、甲南大 etc.
- 私立短大
  - 和歌山信愛女子短(17)、大阪女学院短(5)、関西女子短(4)、関西外大短、武庫川女子短(3) etc.
- 専門学校
  - 和歌山赤十字看護(6)、和歌山県立高等看護(3)、和歌山労災看護(3)、和歌山市医師会看護、大阪物療(2) etc.
- 就職・公務員
  - 三菱電線工業、公務員(3) etc.

西石田県立自然公園 矢びつ海岸 国民宿舎 <b>くろ潮</b> 電話 (0737) 83-3198(代)	扇屋電機産業株式会社 相談役 木内 大 夫 (旧中) 東京都渋谷区恵比寿南2-8-13 神戶・尼道・岡山	母校の更なるご発展を！ 梅 本 正 之 (高7期) (前 阪神タイガース) 西宮市浜甲子園3-11-12 TEL. 0798-47-7897	デジカメよりのプリントは 超高画質フジカラー純正で20分仕上げ！ <b>フォトショップルナナカ</b> エビデ 湯浅町湯浅1852 (ユビア1F) TEL. (FAX) 63-2170	公認会計士 森本好典事務所 株式会社 森本不動産鑑定所 森本好典(高15期) 和歌山市東高松3丁目15-28 TEL. 073-444-6613・444-6612 石田事務所 石田郡古廊町天満3 TEL. 0737-52-5710
--	---	--	---	---

特集

スローライフのすすめ

NPOスローライフ・ジャパン理事長 川島 正英



龍一氏が音楽の分野に持ち込み、テレビでは筑紫哲也氏がニュース23で特集番組をつくったり「多事争論」で採り上げたり……。

わが国での特色は、二十一世紀から本格軌道に乗った「地方分権」と歩調をそろえたこと。長州一二氏が提唱した「地方の時代」の理念は、巨大から適正規模へ、集中から分散へ、画一から多様へ、中央から地方へ、そして集権から分権への価値観の転換を促す。

「スローライフ」の言葉を初めて目にされる人も多いかもしれない。それは、高度成長時代の「強く、大きく、速く速く」と、効率を最優先の基準としてきた考えへのアンチテーゼだったといえる。

価値観を、時間的に「ゆっくり」、空間的に「ゆったり」、心持ちは「ゆたかに」の方向へ切り替えることだ。

この風は、イタリアの小農村で、アメリカのファーストフードへ反発する形で起きた。三年前の夏に、ニューズウィーク誌が「ヨーロッパにひろがるスローライフ」を特集、輪は全世界に伝わっていった。

スローフードとかスローツーリズムとか、日本でも流行語となってきた。坂本

の第三ステージとして開いた「スローライフ月間 in 掛川」を皮切りに、岐阜県多治見市、新潟県安塚町、岐阜市、埼玉県草加市、兵庫県宝塚市がそれぞれ「月間」を催した。

さらに金沢市、山口県柳井市などが続き、愛知万博で「スローライフのまち」が企画される。

そういえば、府県レベルではわが県の木村良樹氏も「スローライフ知事」。岩手県の増田寛也知事は「がんばらない宣言」を唱えたが、木村知事の緑の雇用事業をはじめ「和歌山モデル」と呼ぶ政策もスローライフの視点から高い評価を得ている。

「スローライフ」は、二十一世紀の地方政治を貫く理念だろう。このページに原稿を、というありがたいおすすめに「スローライフのすすめ」を書かせて頂いた次第だ。

朝日新聞の政治記者時代から地方政治に関心を持ち、卒業後も府県や市町村の地域活性化への企画調査とかイベントのお手伝いをしてきた。わが県についても、調査

会、懇談会でさまざまな意見を述べさせてもらった。個人的には、中紀で「囲いのないテーマパーク・元禄村」構想を提起して、有田、御坊、白浜や和歌山市などの友人、知人と活動した想い出もある。

その延長線上のスローライフ運動なのだ。昨春秋にNPOを提唱、ジャーナリスト・筑紫哲也氏、東大経済学部長・神野直彦氏、土門拳賞写真作家・大石芳野さんらにも理事に加わってもらって全国展開に至ったのは本望である。

最後に声を大にして伝えたいのは、私のスローライフ運動の原点についてである。それは、まさに耐久中学校に在学した終戦直後の二年間だ。通学は有田郡保田村から箕島駅まで三十分を傷だらけの自転車。そこから湯浅駅まで白煙にむせびながらデッキに。そして学校までは汽車の鉄橋を渡ったり……。授業も、二年生の大部分は津波で砂積みとなった運動場をモッコとふるしきを使つての後片付け作業だった。

白砂青松の中の木造校舎

のすばらしい景観とが、交錯して思い浮かぶ。

戦争という究極のファーストライフから開放された直後の印象的な学校生活。現在の学生には信じてもらえないスローライフの原点だろう。

感激にふけりながらペンを置く。

プロフィール

一九三三年 大阪生まれ。旧制耐久中学から有田郡保田中学校へ。

大阪府立北野高校卒業。早稲田大学政治経済学部卒業。一九五六年

朝日新聞社に入社。政治記者として、藤山愛一郎、石井光次郎、三木武夫氏らを担当。首相官邸キャップ、政治部長を経て、論説委員、編集委員。

一九九三年五月フリージャーナリストに。

一九九四年四月株式会社地域活性化研究所を設立、代表に。

二〇〇三年十月NPOスローライフ・ジャパン設立。理事長に。

(専門分野) 地方政治、過疎問題、都市政策、選挙制度。

(所属団体) 朝日新聞社社友、日本行政学会会員。

現在、地方公務員制度調査会、過疎問題懇談会委員、中野区特別報酬審議会会長。

## 第三回 関東耐久会総会を終えて

関東耐久会は創立三周年を迎え、去る五月二十二日(土)アルカディア市ヶ谷にて、第三回関東耐久会総会は八十数名の参加を得て盛大に開催されました。

当日は一部総会、二部懇親会という形で進められました。一部の総会では先ず耐久高校の校歌の斉唱に始まり、次いで高居富一関東耐久会会長より昨年の行事の報告と今年度の行事計画について説明があり、さらに我が校の諸先輩の最近のご活躍等についても披露がありました。会員も順調に増えて来ており、現在二六四名に達し、三〇〇名が手に届く段階にあることについてもご報告がありました。

次いで大野博司副会長の議事進行で、平成十五年度の活動経過と決算、平成十六年度活動計画と予算について、会員の賛同を得て承認されました。

さらに、現執行部体制(会長一名、副会長三名)を強化、若返りを図る為、二名の副会長が追加選任されました。新副会長は上野清氏(昭和三十卒)、小島美津子氏(昭和四十二卒)が選任されました。今後は会長、

五副会長に加え卒業年次単位に選任された評議員によって会の運営がなされる事になります。

続いて懇親会に入り、来賓として森添泰弘耐久高校校長のご挨拶、西博義衆議院議員の祝電を賜りました。今回は懇話として落語を取り上げ、三遊亭樂之介氏を招聘しお笑いを楽しみました。

懇親会は丸山昌子副会長による乾杯で宴会に入り、今回も和歌山より「なれずし」を取り寄せましたが、相変わらず好評のようで、ふるさとの味を堪能していただけたものと思えます。卒業年次ごとの席で会食はスタートするのですが、宴たけなわになると席も入り乱れ、あちこちで写真撮影、名刺交換等々で最高潮となり、三時間はあつという間に過ぎ去った印象でした。

今年の今後のイベントは七月に「北怪井沢」にて泊りがけのゴルフ大会、秋にはバス旅行で「宮ヶ瀬ダム」見学を計画しており、再会を約しつつ散会いたしました。

副会長 九鬼利郎



◆ 6月30日—関東耐久会幹部会を開催(池袋 ホテルメトロポリタン)し、今後の行事について話し合いました。出席者(高居会長、神山顧問、九鬼副会長、大野副会長、上野副会長、小島副会長)

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <p><b>(1) 軽井沢散策とゴルフコンペ</b><br/>7月28日(水)、29日(木)<br/>(28日) 南方由子さん(昭33卒)<br/>経営のクリオコート泊<br/>(29日) 散策組とゴルフ組</p> | <p><b>(2) 秋季バス旅行</b><br/>11月14日(日)<br/>丹沢山の奥「宮ヶ瀬ダム」と<br/>創建2千年の「阿夫利神社」<br/>東京駅8時集合、8時30分出発</p> | <p><b>(3) 評議員会</b><br/>平成17年1月14日(金)<br/>於 学士会館<br/>・ 総会の具体案を協議<br/>・ 新年会</p> | <p><b>(4) 第4回総会</b><br/>平成17年5月14日(土)<br/>12:00~ (総会と懇親会)<br/>15:00~ (2次会に移行)<br/>於 ホテルメトロポリタン(池袋)<br/>支配人 前 郁夫氏(昭40卒)</p> |
|---|--|---|--|

### 成果を挙げた「耐久出前講座」

今、県下の公立高校では「開かれた学校」「地域に根ざした学校」が提唱され、わが同窓会でも学校支援活動の一環として、先輩による授業をして公開講座を企画しておりますが、今回初めての試みとして有田南ロータリークラブとの連携事業を「耐久出前講座」の名のもとに実施いたしました。



第一回(三月九日)池田尚弘教諭  
「海外教育事情」  
第二回(四月二十七日)玉富弘教諭  
「郵便切手の楽しみ方」  
第三回(五月十八日)松本泰幸教諭  
「異文化理解のすすめ」  
三講座とも独自のカラーを十分發揮され、研究成果や知識の広さ、そしてその熱意が「さすが耐久の先生」と高い評価を得られたものでした。

野田先生の叙勲を祝し併せて耐久のご発展を祈る 高19期生有志一同	江川和志 (高19期) 和歌山市紀三井寺840-39-106(メゾン山水) TEL:(073)448-2501 FAX:(073)448-2502	太平洋セメント株式会社 販売店 株式会社 I N A X 株式会社 ウチタ 平松準造(高19期) 和歌山市西浜3丁目9番69号 TEL:(073)444-4177 FAX:444-7877	有田の地酒 - くまのみ醸造元 高垣酒造場 高垣 高垣(高19期) 金屋町小川1465 TEL:0737-34-2109(代)
-------------------------------------	---	---	---

2005年創部100周年  
記念行事にご理解ご支援を！  
硬式野球部OB会長  
下野 憲英 (高13期)  
湯浅町湯浅1606 TEL:62-4405

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。

# 科学技術部門で紫綬褒章を受章



## 柏 典夫氏 (高12期)

三井化学株式会社 シニアリサーチフェロー 特別研究室長

「三井化学の柏 典夫さんは入社後三年で、当時夢とされた従来の千分の一の触媒量でポリエチレンやポリプロピレンを得ることができ、超高活性触媒の開発に成功し、特許を取得。この技術は現在世界中の会社で使用されており、そのライセンスや触媒による収入は同社のドル箱となりました。その後も新触媒を世界に先駆けて工業化するなど、前向きな姿勢も若い研究者たちの尊敬を得ています。柏さんは「一見同じに見える物事の内にある相違点、一見異なって見える物事の内にある同一点を注意深く考察し、創造性に つなげている。」と述べられています。

夢の超高活性触媒開発



◆五月二十三日(日) 東京・銀座(たあぶる館5F) やまとに於て、柏典夫(高12期) 氏の同期生を中心に、近しい友人と共にお祝い会を催し、わきあいあいの中で更なるご活躍を念じたものでした。

### 柏典夫氏より

「去る五月十七日褒章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し、天皇陛下に拝謁の栄を賜りました。これもひとえに皆様方の永年にわたる温かいご指導ご鞭撻の賜と深く感謝申し上げます次第でございます。今後はこの荣誉に恥なきよう一層精励し、僅かなりとも世の中にお役に立てる仕事をいたしたいと念じております。」との書状を同窓会の方に頂戴いたしました。

## 野田禧夫先生の叙勲をお祝いして

春の叙勲で、恩師野田禧夫先生が永年にわたって和歌山の教育に尽力された功績により「瑞宝小綬章」を受章されたことを知り、高校19期生有志で祝賀会を計画しました。

六月二十日の夕べ、台風が近付いているにもかかわらず「南部ロイヤルホテル」に教え子三十数名が集い、野田先生御夫妻をお迎えしました。先生は古座高校を振り出しに、日高高校、そして母校である耐久高校で教鞭を執られ、その後近大附属和歌山高校・中学校創設に尽力され、教頭、校長として責務を果たされて昨年七十歳で退職されるまで、教育の発展に全力を注いでこられました。

「君らにはきびしく指導した。」と先生自身も挨拶の中で述べられましたが、先生の授業は大変厳しく、未だに英文暗誦で榨られている夢を見てうなされるという同級生の話に花が咲きました。あの頃の英語力はもう残っていませんが、生徒一人ひとりに厳しくも真剣に接してくれた先生の教育に



先生の教育に かける姿勢は、 私達の中に刻み付けられています。 張りのある お声とパワー は今もご健在で、私達の方が 励まされ、明日への力を頂いたひと時でした。

(法眼貞子記)

## 創部100周年——記念グッズにご理解・ご協力を!

本校野球部は明治二十八年(一九〇五年)に創部されてから、来年(二〇〇五年)は一〇〇周年を迎えることとなります。この大きな節目に長年の夢である甲子園出場をめざすと共に、記念誌や記念誌を発刊することになりました。記念誌は来年五月に滋賀県の彦根高等学校と並びの里球場で対戦するほか、県内外五試合を計画しています。記念誌「耐久野球部一〇〇年の歩み」は秋季・春季・夏季大会の記録やメンバーなど、また、当時は振り返ってのエピソードなどの掲載を考えています。OBや会員の皆さんから当時の新聞や写真などの資料提供をお願いします。なお、創部一〇〇周年の記念グッズとしてタオル一枚一〇〇円の資金や野球部発展のためご協力をよろしくお願い申し上げます。 硬式野球部

### 同窓会活動報告

- 2004年
- 2月27日(金) 卒業生(クラス幹事)との懇話会…会長・事務局
- 3月1日(月) 卒業式(全日制)…会長
- 3月1日(月) 卒業式(定時制)…平松(厚)副会長
- 3月17日(水) 役員会
- 4月5日(月) 教職員異動、送別会(於 横楠)…会長
- 5月12日(水) 役員会
- 7月1日(木) 組織強化委員会・会報委員会
- 7月3日(土) 県高校同窓会連絡協議会総会(於 アパローム紀の国)…校長・会長・白井
- 7月8日(木) 会館建設研究委員会
- 7月13日(火) 会報委員会
- 7月21日(水) 役員会



# 松本やゑ子先生を偲ぶ



## ● 大きな輪の中で

津村 幸(21期)

昭和十三年(一九三八)私共は有田高女に21期生として入学、当時まだ一学年二学級のころで私は松本先生に担任して頂いたのです。それから幾星霜、戦中戦後のむつかしい時代もございましたが、先生には一貫して同窓会のため御奮闘頂きました。本部は勿論のことでございますが、昭和二十二、三年ごろ、ようやく世の中も落ちつきをみせ始めたころでしようか、東京支部会を作りたいたいという先生の御意向で、大先輩の今は亡き村田様(7期)の十条のお宅に伺い、相談の仲間入りを見せて頂きました。直後東京を一時離れることになりました私は、何のお役にもたちませんでした

が、先輩各諸姉の御努力で

昭和も四十年に入ろうとする頃、支部会が発足したように思います。其の後は毎年の例会に加え、私共だけでなく、各期の方々が思い思いの処で、同期会を持つようになり、先生には遠路もいとわず御出席下さいました。私共の小さな輪を含め、連係の大きな輪は切れることなく七十有余年になりました。

先生の亡くなられました後、御子息様の御手で、同窓会、同期会の記念写真が見事に整理されているのを拝見し、一途にその事に御力を尽くされ、情熱をかたむけていられたことを今更に思いおこし、不肖の身を申しわけなく思っております。御冥福をお祈りいたします。



## ● 実社会で役立つ教育を

佐原周子(25期)

昭和十七年四月、世界第二次大戦最中に入學した私達有田高女25期生は、落ち着いて勉強出来た時は、本当に貴重な日々でした。農繁期には、出征家族の農家へ、勤労奉仕に出かけ、三年生の時は、紡績会社で働きました。でも、温厚な先生方に見守られ、幸せでした。四年の八月に終戦を迎え、二学期・三学期と、学習に精進したのです。

『学力低下』と叫ばれる中、松本先生は、実社会に役立つ事を主体に、工夫し乍らわかりやすく教えて下さいました。歴史の時間は、教科書は机上に閉じたまま、あらずじを黒板に書いて、挿話を交え乍ら、語り部調のお話にて、ひきこまれたものでした。育児の時間には、赤ちゃんを抱っこして、皆ニコニコ。あやしたり、授乳のお手本。チュッチュッと美味しそうな赤ちゃん。そしておしめ替えの実習。もう可愛くて可愛くて。「早く私もお母さんになりたいナァ!」と。刹那の夢に胸をときめ

かせた事が、とてもなつかしゅうございます。充実した女学生時代を下さってありますがとうございました。卒業後は、旅がお好きだった先生中心に、白浜・勝浦・那智・和歌浦・高野山を始め、京都・城崎・天の橋立・日光・箱根と楽しかったクラス会旅行の思い出の数々。大地の息吹きを胸一杯に吸い込んで…。何時の間にか世間話に…。人生

相談の中心にはやっぱり先生が…。疑問。質問。Q & A。

昨年一月には、富士山の見える横浜の高級マンションで、御家族の手厚い看護を受けられてた先生。今年三月一日。九十六才の天寿を全うされたとか

極楽の蓮の掌に、「どうぞ安らかにお休み下さい」と。お祈り申し上げます。

去る三月一日、横浜市の自宅で朝食を召し上がりながら急逝なさいました松本やゑ子先生の追悼法要が地元同窓生有志により、四月一日、おりしも桜満開の福蔵寺様で営まれました。

前会長の竹中カズ代先生はじめ近隣の教え子達が相集い、同窓会のシンボルでもいらした先生にふさわしく、名島靖子さんのピアノ伴奏でなつかしい「校歌」にはじまり恒例の儀式の最後は「丘の桜」の斉唱でありし日の先生のご遺徳をお偲び申し上げます。常々、先生は有田高女同窓会は会員が一人でも居る限り、その火は消さないでほしいとのご熱望でしたので、皆様と共に

お守りしていきたいと心に誓い、ご冥福をお祈り申し上げます。

伏木富紀子(22期) 合掌



<p>しらす屋 前福 有限会社 前福 前田 龍一 有田郡湯浅町栖原407 TEL. 0737-63-3156 FAX 0737-63-3157</p>	<p>株式会社 トコリ トコリ・グローバル株式会社 取締役会長 田中利一郎 有田市宮崎町22-2 TEL. 83-3388-83-2107</p>	<p>ケーキハウス カンパニユ ミツムラ 湯浅町栖原98-1 (国道筋) ☎63-5706 (自) ☎63-6677</p>	<p>ココヨ製品と印刷 橋本印刷所 橋本佳巳 湯浅町本町 TEL. 0737-62-2343</p>	<p>小川産業株式会社 代表取締役社長 小川 禎一 奈良市学園緑ヶ丘2丁目11-11 TEL. 0742-44-5072</p>
---	---	--	--	--

「同窓会館建設」基金に、ご理解とご協力をお願いします。



昭和24年4月入学生

# 半世紀を越え、古巣に集う

平成16年5月28日



旧制耐久中学校応援歌

川口 順吉 作歌  
植村志呂路 作曲

- 一 鍛へし腕 示すは今ぞ  
秋は到れり いざ起たむ  
意気と力のあるところ  
勝利は常に我がものぞ  
行け若人 我等が選手
- 二 胸は高鳴る 血潮はたぎる  
母校の為ぞ いざ起たむ  
玉と砕くる 意気あらば  
何か覇業の難からむ  
行け若人 我等が選手

「五十六年ぶり、懐かしい顔、広川・旧制耐久中学で同窓会―学生改革で離ればなれ、橋本さん達が呼びかけ二十八日再会」と、二十五日付けの産経新聞の大々的な掲載には先ずびつくりした。

あこがれの県立耐久中学に入学を許された最後の生徒達が、二年終了まで共にした学舎に五十六年ぶりに初めて行う同期の会である。南海大地震・津波をも体験し、戦後の学制改革により強制的に出身地の新制中学校に編入させられ、当時、京阪神方面から疎開していた友人達とも別れわかれとなる。二〇〇二年には耐久高校が創立百五十周年を迎えたことに、あやかっつての同窓生の悲願の夢が一気に実現したことになる。当初、消息が分からないなど手探りの会合を数回するなか、運良く生徒父兄会が発行した(二十一年八月)会員名簿が入手することが出来、案内発送数一三

七うち出席四六、欠席六四、無回答二七、回収率八〇%の数値からも関心の高さを伺う事が出来よう。

先ず一時四十分、思いの広の学舎に集結、懐かしのスタンドで校歌そして応援歌(大層しごかれた)を古希の声、高らかに歌い、記念撮影の後、移築された記念館、津波にも負わずに残った雨天体育館などを散策し、今も県立耐久中学校の文字が残っている一本の門柱を後に移動のバスに乗りこみ、第二会場である、湯浅町「横楠」に。

恩師、森三男三郎先生のお言葉、続いて全員の自己紹介等に耳を傾けるセレモニーに約一時間、そして待ちに待った、ワイワイ、ガヤガヤタイム。飲み食い、語り合い、笑顔満杯の宴席も、次回来年度小川禎一君を中心とした大阪連がホスト下さる事を約し、すばらしかつた半日のメニユーを惜しみつつ、

又の日まで「お互い元気でな。」と握手握手で幕。

翌二十九日の産経新聞には『五〇人感涙の再会』の見出しで―参加者は昔の面影を思いだしたのか、「元氣やなあ」などと握手を交わしたり、抱き合う姿も見られ、「風景は変わっているが、校舎の位置関係などを思いだして懐かしい」などと思いつつ、出を語り合っていた。また、同中学校の小林光洋校長は「昔の教育で育ったつながりの強さや、団結力を感じた。」と語った。―と掲載された。レポート下さった清水隆記者には、前後二回も取りあげて下さったこと、今回、和歌山特報・有田タイムス両社共、大きなスペースで紹介された点、そして、学校を開放され、数々のご配慮で迎えて下さった小林校長はじめ、皆々様に心よりお礼を申し上げます。





卒業50周年

## 6期生(昭和29年卒)同窓会

ホテル ニューオータニ(大阪)で開催

卒業50周年を記念した同窓会が、去る6月4日(金)新緑に包まれた大阪城公園の一角、ホテルニューオータニで開催された。

当日は、大阪在住の同窓生を中心に和歌山地方からも多数はせ参じ、男女合わせて総数43名が参加した。

参加者の中には、卒業以来の再会を懐かしむ方もいて、高校時代の思い出話からお互いの健康談議まで話題は尽きず、延々2時間半に及んだパーティは最後に校歌「東雲なびく生石山……」を全員で合唱して盛況裡に終わった。



(幸田 誠記)

### 耐久会ゴルフコンペで絆の強化

※十年前の春、ゴルフ好きの(ゴルフ上手のではありません)オジサン達八名が仮オープンコンペのサンリゾットでコンペらしきものを催しました。

※プレーはともかく一風呂浴びた後のミーティング(酒盛り?)が盛り上がり、これからも定期的にやろうということになりました。

※そのオジサン達は三十数年前に耐久高校を卒業していたので、誰にも許可を得ずに、「耐久会ゴルフコンペ」とネーミングしました。

このような経緯で誕生した耐久会ゴルフコンペですが、その後、先輩や後輩にその輪が広がり、現在はメンバー四十名を超え、年二回春と秋のゴルフシーズンに実施されるコンペには、四々六組の人々の参加を得て、和気あいあい、楽しい一日を過しています。

おかげ様で、昨今は少しオオప్పラに耐久会を名乗

### スコアよりスマイル クラブよりグラス

れるようになりつつあるのではないかと思っています。ウラ若き熟女たちの参加もあり、男性軍も発奮。

昨春のコンペではメンバーの一人がホールインワンを達成したり、今春は大阪から大先輩の阪本禎三関西耐久会々長が参加下さり、八十才とは思えない若らしい勇姿を披露され、一同感心すると共に感激しました。もちろん、発足以来のモットーである「スコアよりスマイル」「クラブよりグラス」の精神はあい変わらず継承され、アフターゴルフも一同十分に楽しんでいきます。これがタテ、ヨコの耐久の絆を強くしているように思います。

次回開催は平成十六年十月十三日(水)有田東急ゴルフ倶楽部で行います。老若男女は問いません。同窓集いてオモロイゴルフをご希望のお方、遠慮はご無用です。奮ってご参加下さい。「女性」と「ヘボ」と「チョットお酒飲み」の方大歓迎です。

(横山 享記)

#### ▶参加申込及びお問合せ◀

0737-52-5710

森本会計事務所 森本好典(高15期)まで

右は、16年4月7日  
有田東急ゴルフクラブの成績表です。

(競技方法：新ペリア)  
(打数制限：PAR×2)

	ブルー	レッド	GROSS	HDCP	NET	
優勝	田尻 満男	43	45	88	16.8	71.2
準優勝	横山 享	40	38	78	4.8	73.2
3位	岡 伸彦	44	40	84	10.8	73.2
10位	〇〇〇〇	50	54	104	28.8	75.2
15位	〇〇〇〇	53	57	110	30.0	80.0
B.B	〇〇〇〇	58	63	121	36.0	85.0
17位	〇〇〇〇	67	64	131	38.4	92.6



湯浅町商工会  
会長 白子 勝昭 (高13期)  
株式会社 白子松次郎商店  
本社 湯浅町湯浅2332-1 電 63-3773

電子部品製造(半導体カプセル等)  
荒木産業株式会社  
代表取締役 荒木 彰一  
本社 大阪市生野区勝山北1-16-10 TEL.06-6731-7377

デジカメから写真には  
当店におまかせを!  
ユビア スタジオ ムナカ  
湯浅町湯浅1852 (ユビア1F) TEL.(FAX) 63-2170

創部100周年行事を支援しよう!  
球 想 会 (高4期)  
上野山和夫・中邑信五  
五百崎博己・橋本佳巳

ペットと泊まるログハウスの宿  
パートナーズハウス ゆあさ  
横山 享 (高14期)  
湯浅町山山山 TEL-FAX 0737-65-3411  
URL:http://www.partnershouse.jp

同窓会組織強化委員会

さる七月一日(木)夜、耐久高校で第一回同窓会組織強化委員会が開かれた。出席者は同窓会役員より六名、学校側より二名の計九名。組織強化は長らく同窓会活動の懸案事項であったが、一昨年の創立百五十周年記念事業を契機に「耐久高校、そして同窓生の未来のために、各支部・各期のつながりをさらに深め活発な活動を」という役員会での切実な声の下、本会は発足した。第一回目となる今回の会合では、活動が盛んな期の近況報告を受けながら、資料を基に活発な論議が交わされた。「同窓会のホームページを充実させてもつと各期毎の交流を深めてはどうか」「二十代・三十代・四十代など、年齢層別に各期をまとめ、同窓会組織を強化してはどうか」等、建設的な意見も多数出された。そんな中で「組織強化の一步はまずは各期の懇親会(クラス会・学年同窓会)開催から。一度各期の幹事に各期別の同窓会(懇親会)開催にかかわるアンケートを実施してはどうか」という提案があった。アンケート調査を通して各

期の開催実態を把握し、開催の障害となつていていることについて対応できるものがあるれば積極的に策を講じようというもの。アンケートの項目としては、①同窓会(懇親会)の開催予定をたずねる

②同窓会(懇親会)開催にあつたて障害となつていていることをたずねる 等を予定している。委員会としては今後アンケート項目・調査方法等、詳細について具体的に検討を重ねていくことを確認し、本会は終了した。

なお、過日行われた同窓会役員会で、組織強化対策の一つとして「今年度は、『知命(五十歳)』という人生節目の年を迎える高校25期生を対象に同窓会開催を支援してみよう」という提案があり、すでにその支援活動が始まっているということをここに付記いたします。

今後、組織強化にかかわつて何かご意見があれば事務局までお寄せ下さい。  
(清水健一記)

同窓会館建設研究委員会

去る七月八日(木)午後七

時三十分より、第一回の同窓会館建設研究委員会が耐久高校応接室にて行われました。

まず、県内他校の同窓会館の状況について、下野委員長より資料を用いて説明がありました。続いて、同窓会館の利用目的状況について議論され、主たる目的は①卒業生が気軽に集まり、同窓会等のための打ち合わせをする ②同窓会資料を常設展示する ③それ以外の時は学校側が多目的に利用することを確認されました。



具体的に、建設場所は学校の敷地内が適当であり、建設費用については、他校の例からも全額、または、ほぼ全額を同窓会員で負担しなければならぬであろうことも確認されました。そのためには、同窓会員に対して、強くアピールできる鋭いセールスポイントが必要であると意見も出されました。

第一回目の会議でもあり、

建設への青写真や具体的な取り組みについてはまだまだ明確にはなりませんでしたが、同窓会館建設の夢の実現にむけて、有意義な第一歩となりました。次回会議での議論が期待されます。  
(川口裕幸記)

同窓会報委員会

浜口梧陵に魅せられて  
昭和十九年の半ば、日本の敗色濃厚な頃、童顔小柄な少年が転校してきた。

私達は学徒動員に駆り出され、連日の空襲に怯えながら死線の間をさまよつていた。

従つて、一人の転校生の存在に気付く者も少なく、「そんな同級生いたか?」というのが実感だった。

その名は『木村哲治君』昭和二十一年春、第40期生として、耐久中学校を卒業し戦禍の跡が生々しい大阪に帰つて行った。

その後の彼の消息は遙として知れなかった。時は巡り平成十年、白浜での同級会への出席回答の中に彼の名前を発見した時は大きな喜びを感じたものだった。

終戦の年、家族と共に帰阪

した彼は、復興途上の焼け跡に散在する鉄屑の活用に着目し、以後文字通り粉骨碎身昭和三十五年に店舗を興し、以来着々と業績を上げ平成十四年には創業五十周年式典を実施。今年四月関連会社を統合「三協則武鋼業KK」社長として多忙な毎日を通りしておられる。

彼が経営者として、常に危機管理に関心をもつことは当然であり、その方策を探つていた時、偶然目にしたのが、同窓会報『耐久』であり、中でも垣内貞氏の力作「稲むらの火」の主人公五兵衛が出身校「耐久」の創始者「浜口梧陵」であることを改めて知り、彼の生きざまの中に会社運営の秘訣があるのではと、系列会社の幹部とも語らい、社内研修のテーマとして取り上げ又最近業界誌「くるがね」に自分の思いを込めたエッセイを連載する程の入れ込みようである。

自分が耐久の出身者としてのほこりと、偉大な先覚者の教訓を胸にはりきつてい

る木村君に大きなエールを送りたい。  
(斎藤春太郎記)  
◎次号に木村氏のエッセイを掲載の予定 乞ご期待!

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなつた様です。十分ご注意下さい。

# 部活OB・OGたちの絆 書道部の巻



全国高校総合文化祭 出品作品

するとします。当然、各々線質、字形、書くリズム等に個人差がありま

第二十八回全国高校総合文化祭徳島大会(七月三十日～八月三日)への出品校に推薦され、「紀の国の万葉歌五首」をテーマにした作品を

出品します。作品は三年生部員五名による「合作」作品で、一人一首漢字の行草体や漢字仮名交じりの書(漢字と平仮名を調和した表現で書く)の作品に仕上げました。生徒達は題材の五首を県内の地域性にも配慮して決めていました。

「合作」とは、作品のテーマを決め、漢詩や和歌、俳句、現代詩、小説等の一節を複数で分担して書作し、一つの作品としてまとめたものです。「合作」の難点は、一貫性、統一性をどのように図るかということです。例えば、ある歌詞の一番をAさん、二番をBさんが書作

それらをどう調和させ、統一性を図るかが課題となります。

今回も、生徒達には「良い作品と上手な字とは意味が違ふ。線質や書くリズムには個性が出る。それを大切にしよう。」と「各々百枚は書こう。」と言いつつ、作の巧拙はともかく、オンリーワンの作品が五つそろいました。

書道部活動では個人の書写能力の向上を図ることと共に、美意識の向上を培いたいと思っています。そして一人でも多くの部員に生涯にわたって書道を愛好して頂きたいと思っています。

顧問 杉村明信



## 同窓俳壇

永山英樹(高26期)

・太陽へ 一直線の 黄金虫

・ヘルメット 被りし球児 終戦日

濃中かよ子(高女27期)

・うすぐらき 千本格子の 土間涼し

・校庭に 旧高女の碑 夏の蝶

## 同窓歌壇

西邑 孝(高4期)

・半世紀越え在りし日の少年等

喜々と集いて 古き校歌を

下野香代(高20期)

・さやさやと 流れる水の 白き尾瀬

吾の命の 泉湧き来る

・会報有難く拝見しました。それにしても野球部の前評判であちこちの「広告取り」から前人氣に煽られて広告(名前)代をせびられたのは歯がゆいばかりでした。

野村太茂津(旧中26期)

す。本を刊行しようと思ひ、今秋に出版できると思ひます。

叔父さんに当る故人の梅本清三郎氏とは津木小学校の同級生、彼は投手で小生は「キャッチャー」。ふるいふるい昔の話です。

今川凍光(旧中25期)

・会報13号拝読しました。ありがたい。なつかしい耐中の校舎や土手の松の木、海風を思い出しています。

## 「編集後記」

例年になく空梅雨が知らぬ間に明け、酷暑が続くまじく盛夏真つ只中、会報十四号をお届けいたします。

昨年新たに衣替えした役員体制は、同窓会のあるべき姿を問ひかけながら「同窓会活動の更なる活性化」と「新規事業の具体的な推進」を目指しています。そんな中、従来からの「会報委員会」に加え「組織強化委員会」「同窓会館建設研究委員会」の二つの委員会を発足し、そのスタートを切りました。

同窓会館建設という夢の実現には、同窓会組織の強化充実は必須条件。今後は、三委員会それぞれの活動はもとより、互いの結束による相乗効果が期待されるところです。会報委員会としましても、これまで同様に会員の皆様のご期待に添うべく微力ながら努力していきたく存じます。

つきましては、会報発刊に際しての賛助広告・浄財のご提供・ご協力を心よりお願い申し上げます。また紙面のパージョニアップのため、各期同窓会情報、俳壇・歌壇、随想等の原稿や写真、資料なども、どしどしお寄せ頂ければ幸いです。

今回も発刊にあたり、ご協力戴いたすべの方々に、またご愛読下さる皆様に、編集員一同感謝申し上げます。

## Echo!